

考 戦争法廃止と 憲法9条

④

戦争法を廃止し、さ
らにその先に日米安保
体制の解消を目指すに
は、憲法9条に基づく
平和の対案を示すこと
が重要です。

1950年代以来の
日米安保体制のもと軍
事最優先政治が長く続
いてきました。日本全
体が「米ソ冷戦」の「最
前線」に置かれ、国民
の意識にも安保・自衛
隊容認論が広がりまし
た。日本政府は、憲法
9条に基づく「武力に
よらない平和」のため
の外交に本気で取り組
んだことは一度もない
のです。

戦争法を廃止し、さ
らにその先に日米安保
体制の解消を目指すに
は、憲法9条に基づく
平和の対案を示すこと
が重要です。

国民の確信に

9条実現には、9条

を生かした平和外交ピ
ジョンを提示し、その
実践を通じて「武力に
よらない平和」へのリ
アルな認識、現実性
を、国民の確信にして
広げていくことがどう
しても必要です。

安倍晋三首相は、戦



韓国ソウル市内の高麗大
学で「北東アジア平和協力
構想」について講演する日
本共産党の志位和夫委員
長(2014年10月27日
中相寅一撮影)

9条に基づく平和外交

争法によって米国との
軍事協力を強めること
で「抑止力」が高ま
り、日本の平和は確固
たるものになってい
く」と繰り返して述べて
きました。しかし、北
朝鮮の核・ミサイル開
発は止まることなく、
中国による東シナ海や
南シナ海での力による
現状変更の乱暴な試み
も強まっています。日
本が米国との軍事協力
を強めて地域の緊張に
関与していくことは、
逆に緊張を激化させる
ことになり、自ら平和
を脅かすだけです。

よって解決する抜本的
対案として「北東アジ
ア平和協力構想」を提
唱しています。それは
①域内の平和のルール
を定めた北東アジア規
模の「友好協力条約」
を締結する②北朝鮮問
題を「6カ国協議」で
解決し、これを平和と
安定の枠組みに発展さ
せる③領土問題の外交
的解決をめざし、紛争
をエスカレートさせな
い行動規範を結ぶ④日
本が過去に行った侵略
戦争と植民地支配の反
省は、不可欠の土台
というものです。

憲法を生かす

日本共産党は、軍事
対軍事の対抗は最も危
険な悪循環に陥ると批
判し、北東アジアに存
在する紛争と緊張を、
平和的・外交的手段に

安倍首相は2013
年12月に靖国神社参拜
を強行。日本の侵略戦
争の正当化をはかるな
ど、歴史問題でアジア
諸国との深刻な対話の

「壁」をつくってしまし
た。この状況を打開し、
さまざまな紛争案件に
ついて正面から話し合
える道筋を築くことは
急務となっています。
さまざまなレベルで
の対話・協力のルート
が開かれれば、経済的
・文化的相互交流の深
まるアジアで、紛争や
緊張があっても、武力
衝突に発展させないこ
とは可能です。紛争を
平和的に解決するルー
ルの構築は、いわば9
条を国際規範として意
義付けていくことであ
り、日本がイニシアチ
ブをとって力を発揮す
べき課題です。

9条理念の具体化と
して平和構想を実践す
ることは、憲法を生か
す立憲政治そのもので
はないでしょうか。

(つづく)